

ガッツ全栃木クが初勝利

社会人野球

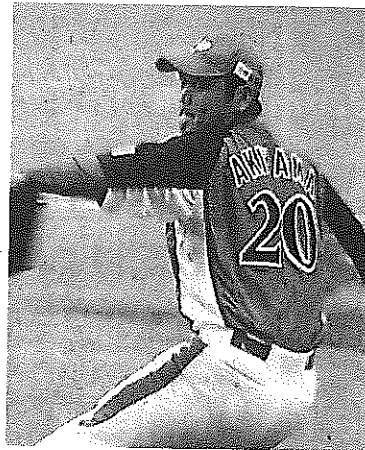
全日本クラブ選手権

クラブチーム日本一を決める第35回全日本クラブ野球選手権(毎日新聞社、日本野球連盟主催)は14日、埼玉・西武ドームで開幕し、1回戦4試合を行った。

横浜金港ク(神奈川県)は水沢駒形俱(岩手)を振り切り、2年連続で初戦を突破。前回準優勝の松山フェニックス(愛媛)も佐久コスモスターズク(長野)を退けた。タレントのガッツ石松さんが総監督のガッツ全栃木ク(栃木)は函館大洋俱(北海道)との接戦を制し大会初勝利。昨年の日本選手権大会8強で今年都市対抗大会で初出場初勝利を挙げた大和高田ク(奈良)

はノースアジア大校友(秋田)にコールド

現役復帰 古巣と戦いたい



3回を無失点に抑えた松山フェニックスの秋山

勝ちした。16チームによるトーナメント戦を4日間行い、優勝チームは日本選手権大会(10月30日開幕)の出場権を得る。

思いは残った。

NTT四国の流れをくむ松山フェニックスに、ひと足先に東海理化から移籍していたのが、この日先発した永井。同じ四国出身で駒大の1年先輩、寮も同部屋だった永井の勤めもあって、4月にNTT愛媛支店へ転勤したのを機に加入した。「仕事をしながら、必死に野球をしているみんなの姿は刺激になる」という。NTT時代に150打を超えた速球は、この日は130打。引退後に半年近いブランクがあった影響もあるが、「ひと冬越えたら、球速も取り戻したい」と意欲的だ。何より、「日本選手権の出場権を得て、NTT西日本と戦えたら……」。新しい仲間と、この大会での優勝を見据えている。【藤倉聡子】

スラム

移籍1年目。初戦での起用を「意気に感じました」。七回に登板すると、毎回得点圏に走者を背負いながらもスライダーやチェンジアップを左右に散らす

秋山章悟投手(27) 松山フェニックス

丁寧な投球で、3回を無失点で乗り切った。近畿の強豪、NTT西日本を昨季限りで引退。肩などの故障は経験していたものの「野球を続けたい」という

函館大洋はガッツ全栃木クに敗れる 全日本クラブ野球

第35回全日本クラブ野球選手権(毎日新聞社、日本野球連盟主催)が14日、埼玉県所沢市の西武ドームで開幕し、1回戦4試合があった。15日は1回戦の残り4試合を実施する。【大谷津統一】

吉田、完投及ばず

ガッツ全栃木ク 0100002100003
函館大洋俱 000000110002

水沢駒形俱(岩手) 00000200004
横浜金港ク(神奈川県) 2100000100X4
(水) 千葉章、加藤武、玉城(横) 広瀬、斎藤▽本塁打 仁(横)

松山フェニックス(愛媛) 100000110003
佐久コスモスターズク(長野) 01000000001
(松) 永井、秋山、村田(佐) 平林、菊池秀一、赤羽▽本塁打 福原(松)

ガッツ全栃木ク(栃木) 010000200003
函館大洋俱(北海道) 000000110002
(ガ) 螺良、伊沢、斎藤、田崎、川中子(函) 吉田、田端▽本塁打 川中子(ガ) ノースアジア大校友ク(秋田) 00000000000
大和 高田ク(奈良) 3000007X10
(つ) 佐藤洋、佐々木祐一、岸野(大) 田中、池辺、小山

ガッツ全栃木は二回に川中子の本塁打で先制し、六回には吉田の2点適時打でリード。投げては4投手の継投で反撃を2点に抑えた。函館大洋は吉田が3失点で完投し粘ったが、打線が相手を上回る9安打を放ちながら要所でミスが出た。